

九博にて、伝統工芸の体感イベント。

柿右衛門、今右衛門、久留米絣、博多織の工房が九博にやってくる。

表には、出ない
匠の技が、
いま、ここに。



匠に託された技

伝統を知る

平成21年

2月14日(土) 9:30~17:00

製作実演は随時
製作解説は10時、12時30分、15時からの3回

- ◆主催／九州国立博物館・日本工芸会西部支部・朝日新聞社・NHK福岡放送局
- ◆実演団体／柿右衛門製陶技術保存会・色鍋島今右衛門技術保存会・重要無形文化財久留米絣技術保持者会・NPO法人 博多織技能開発養成学校
- ◆協力／有田町教育委員会・有田町歴史民俗資料館・福岡県立美術館・九州国立博物館を愛する会
- ◆後援／福岡県教育委員会・太宰府市教育委員会・太宰府天満宮・太宰府観光協会・(財)九州国立博物館振興財団
- ◆企画制作プロデュース／株式会社クハプロ

【上より】
■酒井田柿右衛門(14代) 洒手桜文花瓶(部分)
■今泉今右衛門(14代) 色絵薄墨壺はじき雪文鉢(部分)
■森山哲浩 木綿絣着物「春の夕なぎ」(部分)(2月10日から展示)
■小川規三郎 博多織帯「かざら」(部分)(2月8日まで展示)

KYUSHU NATIONAL MUSEUM
九州国立博物館



特別展『工芸のいま 伝統と創造-九州・沖縄の作家たち-』の開催にあわせ、我が国の伝統工芸を支える職人集団や後継者育成団体の存在があることを、これらの製作実演を通してご紹介します。

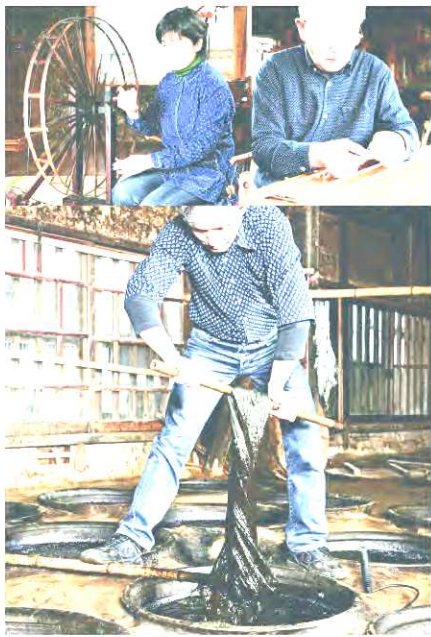
優れた作家の創造は、原材料の調整から道具の製作等、多様な技をもった匠とよばれる人々、いわゆる職人達が伝えてきた伝統の基盤によって支えられています。今回は、普段は表にでることのないそうした職人の熟練・卓越した技の世界を間近にご覧いただけます。総勢20余名の職人たちによる一日工房が九博に出現します。匠の動く姿、その技を見つめ、材料に触れ、音を聞き、そして匠と話を交わすことで、日本の伝統を体感し知る機会となれば幸いです。

- ◆製作実演団体
- 柿右衛門製陶技術保存会
- 色鍋島今右衛門技術保存会
- 重要無形文化財久留米絨織技術保持者会
- NPO法人 博多織技能開発養成学校



色鍋島は江戸時代に佐賀藩主鍋島家の藩窯で焼造された色絵磁器。分業化された生産技術体制と厳密な品質管理のもと製作され、完成した独自の様式は我が国でもっとも精巧な窯芸の一つ。作灰釉による青みのある釉肌に唐呉須による下絵付け、さらに赤・黄・緑の三色による独自の土絵付けなどが実演される。

柿右衛門は今から約400年前、我が国で最初に色絵磁器の焼造に成功し、1700年頃には乳白色の磁胎に絵付けをした柿右衛門様式が完成。柿右衛門製陶技術保存会は濁手素地から土絵付けなど、作品完成に至る工程を今に伝えている。素地の成形と独自に調整された赤絵具による土絵付けなどが実演される。



久留米絨は江戸時代後期に創案され、素朴な美しき、堅牢性により広く愛用された木綿絨の代表的な存在。その後、機械化が急速に進むなか、正藍染め、手拵りといった30以上にわたる製作工程のすべてで伝統的な技を伝え、後継者を養成する目的で本保存会が結成された。藍染め、拵り、織など伝統的な技を実演。

■交通案内

●公共交通機関
 (西鉄電車)西鉄福岡(天神)駅から天神大牟田線(特急・急行で約15分)で西鉄二日市駅乗り換え、太宰府線(約5分)で西鉄太宰府駅下車、西鉄太宰府駅から徒歩約10分
 (JR)JR博多駅から鹿児島本線(快速で約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約5分)、西鉄二日市駅からは太宰府線利用

●自転車
 (九州自動車道)太宰府ICまたは筑紫野ICから、高橋交差点経由で約20分
 (福岡都市高速)水城出入口から高橋交差点経由で約20分
 (タクシー利用)JR二日市駅からタクシーで約15分・福岡空港からタクシーで約30分

●駐車場(有料)に限りがありますので、こ来館の際は公共交通機関をご利用ください。



博多織は760年余りの歴史を誇る、西陣織と並ぶ我が国を代表する織物。博多の人々の生活のなかで発展してきたが、社会環境の変化とともに昨今は衰退の一途をたどっている。そのような状況下、博多織の技を学び、次世代の博多織業界を切り開く人材の育成を目的として設立された。実技講座の一環として実演。

九州国立博物館
 福岡県太宰府市石坂4-7-2
 TEL(予約センター)050-5542-8600
<http://www.kyuhaku.jp>

「工芸のいま 伝統と創造」展 その他会期中イベント情報

特別展関連講演会 金子賢治が語る「工芸のいま 伝統と創造」
 日時 平成21年2月22日(日) 13:30~15:00 場所 九州国立博物館1階ミュージアムホール
 参加費 無料。要申し込み。また、当日、展覧会入場券もしくは半券のご提示が必要となります。
 定員 300名(先着順で申し込みを受け付け、定員に達次第締め切ります)
 東京国立近代美術館工芸部長として数多くの現代工芸を見つけてきた、金子賢治氏が展覧会のみどころを様々な視点から語ります。

【お申し込み方法】
 イベント希望者は官製往復はがきの「往信用表面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号、(返信用表面)に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記宛先までお申し込みください。1枚のはがきにつき1人のお申し込み可。先着順で申し込みを受け付け、入場整理券(返信用ハガキ)をお送りします。定員に達し次第締め切ります。

【お問い合わせ先・お申し込み先】
 「工芸のいま 伝統と創造」イベント事務局
 〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目9-7-205
TEL 092-725-1170
 (10:00~17:00 土日祝を除く)

※いただいた個人情報(「工芸のいま 伝統と創造」展会期中イベント以外)には使用いたしません。